

ファンタゼリーだったら 永遠に蹴っていられる

作・盛岡一高演劇部（生徒顧問創作）

【登場人物】

愛海

井戸

チヒロ・小学生のامي

サユ・小学生のイド

第1場 愛海と井戸は旅に出る

愛海と井戸は歩く。歩き続ける。

それはどこか遠い、ある田舎町の、ある通り。

いやそうではない。それは、さほど遠くない町の、特定の通り。

愛海 雨、降るかなあ？

井戸 うん、

愛海 なんかに降りそうだねえ

井戸 うん、

愛海 あ、工藤精肉店だ。

井戸 うん、

愛海 あ、クニヤ！

井戸 うん、

愛海 まだやってたんだ：

井戸 うん、

愛海 たこ焼き食べてく？

井戸 うん、（と言いつつも、前に進む）

愛海 井戸くん！

井戸 うん？

愛海 感動がない！

井戸 うん：

間

愛海 あー、ねえねえ、ここかわいい！

井戸 うん、

愛海 かわいいってば。

井戸 うん、

愛海 （ドスをきかせて）かわいいつつてんだよ！

井戸 えー！？

愛海 女子が、かわいいって言ったら、

ここにやっていきたい、ってことでしょうか！

井戸 え？ どこに？

愛海 ミッフィー！

井戸 は？

愛海 ここよ、ここ。ミッフィーカフェ。

国内唯一のブルーナさん公認のミッフィーカフェ。
ほら、ちょーかわいいー。

井戸 (見上げる)
愛海 ね？
井戸 (歩き出す)

愛海、後ろから井戸に蹴りを入れる。

愛海 ミッフィー・キック！
井戸 ミッフィーはそんなことしない！
愛海 なんだ、知ってんじゃん、ミッフィー。
井戸 ミッフィーに来たわけじゃないから。
愛海 なに。
井戸 こんな遠くまでわざわざ、ミッフィーに会いに来たわけじゃないから。
愛海 ワケ？ ワケって…
井戸 ここに来たワケ。
愛海 釜石に戻ってきたワケ？

照明暗くなる。

音楽

第2場 チヒロとサユは、団長さんではなく、井戸さんを見つける

チヒロとサユは、ベンチに座っている。
校内の2階渡り廊下である。
遠くから生徒の談笑や部活動の音。
彼女たちの正面に、少し離れて1階渡り廊下があり、
二人はそこを通る人を見ながら、噂話などする。

チヒロ ファンタゼリーってさ…
サユ (上の空で) うん、
チヒロ ファンタゼリーってどこに行ったんだらうね？
サユ え？ だれ？
チヒロ ファンタ。
サユ え、ファンタ？
チヒロ ゼリー。
サユ それ、フルフルシェイカーのこと？
チヒロ …だっけ？
サユ あー、

チヒロ あ！ あれ！

チヒロとサユ、正面を通っていく誰かに注目。
誰かは通り過ぎたらしい。

チヒロ ……違った、

サユ ちょっと似てたね。

チヒロ はあ？

サユ なに。

チヒロ 団長さんはもっとかっこいいってば。

サユ ……そうかなあ。

チヒロ そうなの。

二人、また前を見る。

サユ ……チヒロさー、こーゆーの何人目？

チヒロ こーゆーの、って言うな。

サユ いつもこっから見てるだけだし。

チヒロ あ、それから、

サユ なに。

チヒロ 何人目、も言うな。

サユ 見てるだけー、団長さんも、見てるだけー

間

チヒロ あ！

サユ あ！

二人、誰かに注目。

チヒロ・サユ あっ！

チヒロ 転んだ！

間

サユ 井戸さんじゃん。

チヒロ 井戸かー（がっかり）

サユ 呼び捨てか、年上なのに。

チヒロ 井戸さんかー（もっとがっかり）

サユ がっかりしすぎだし。

チヒロ 井戸さん、団長さんと同じクラスなんだよね…
サユ ふうん、
チヒロ 井戸さん、身長171センチ、61キロ。
サユ なんて知ってんの？
チヒロ 団長さんの保健カード盗んで見たとき、ついでに見た。
井戸さん、団長さんと同じクラスだから。
サユ チヒロ、それ犯罪。
チヒロ 視力も同じ、（両目を指して）0・1。
サユ 団長さん、メガネかけてないよね？
チヒロ コンタクト。ワンデーアキュビュー。
サユ だから詳しく。
チヒロ 井戸さんはメガネオンリー。コンタクト入れるのに1時間かかって結局あきらめた。
サユ チヒロ、団長さんってどうか井戸さんに詳しくなってない？

井戸、去ったらしい。

チヒロ …喉、渴いたねえ。
サユ うん、
チヒロ なんか固形物っぽい飲み物、飲みたい。
サユ 固形？
チヒロ こつぶ、とか、
サユ あー
チヒロ あったよね、こつぶ。
サユ こう、振る関係ね。
チヒロ そう！ ファンタゼリー！
サユ だから、フルフルシェイカー。
チヒロ のど渴くー
サユ のど渴くー
チヒロ あ！

二人、再び前方を注目。

チヒロ また井戸さんだ。
サユ 指を指すな。
チヒロ えーとー、井戸さん、何してんだ？
サユ 井戸さん…なんか幼い？
チヒロ 井戸さん、メガネかけてない。
サユ ああ、だからまちがっちゃったんだ、団長さんと。
チヒロ まちがわないっ！

間

サユ なにウロウロしてるんだ？

チヒロ メガネかけてないと、井戸さん、小学生みたい。

サユ 井戸さん、小学校の時もメガネかけてたよ？

チヒロ だっけ？

サユ 昔っからあんなふうに猫背だし、

チヒロ (先生っぽく) 「まっすぐ立つんです！井戸くん！」

サユ 言われてたー、

チヒロ あと、よく落し物してたー、

サユ してたー、

チヒロ ？ 今度は四つんばいだ！ …なに？

サユ なんかの…トレーニング？

チヒロ 何の？

サユ ある種の…

間

チヒロ ま、わかってたけど。落し物か、

サユ メガネだね、

チヒロ 井戸さんらしいね…

二人、今度は反対方向を見る。

チヒロ あれ、愛海ちゃんじゃない？

サユ 指を指すな。

チヒロ そーだよ、愛海ちゃんだよ。

間

サユ いっしょに四つんばいになった。

チヒロ 井戸さんの落し物を探してあげてる？

サユ 愛海ちゃん、やさしい！

チヒロ 井戸さん、愛海ちゃんに気づいた！

サユ 愛海ちゃんも井戸さんに気づいた！

間

チヒロとサユ、正面を見ながら歌いだす。

(なにか、恋に落ちるシーンにふさわしい大げさな歌。)

サユ チヒロ、見た？ いまの、見た？
チヒロ 見た。はじめて見た。
サユ 人が…アレに…落ちるところを、
チヒロ 井戸さんが落ちた…井戸だけに。
サユ 誰がうまいこと言えって言った。恋よ、恋。
チヒロ 恋…ふたりは、恋に落ちたのね…
サユ love at first sight…
チヒロ え？
サユ love at first sight、ひとめぼれだよ、ひとめぼれ。
チヒロ 私たち、井戸さんと愛海ちゃんのひとめぼれの瞬間を目撃…！？
二人 きゃー！！

間

サユ あ、でも二人は初対面じゃない、か…
チヒロ あれから七年だよ、初対面みたいなもんじゃない？
サユ ええ？ あれから七年？
チヒロ そうだよ、七年ぶりだよ…

第3場 井戸と愛海は恋に落ちない

一階の渡り廊下。

井戸、メガネを探している。

井戸 あ、れー？
どこかなー？

井戸、ガバッと四つんばいに。

井戸 メガネー、オレのメガネー、
ないと泣いちゃうぞ！ メガネちゃん、

反対側から、愛海登場。

何かに気を取られ、

四つんばいの井戸に気づかず、ぶつかって転ぶ。

愛海 えー、なにー！？
井戸 あゝー！！
愛海 え？なに？
井戸 そこに！ お尻の下に！
愛海 え？
井戸 あゝ…ないー

間

愛海 井戸…くん？
井戸 あゝあ…

井戸、そのまま去ろうとする。
愛海、引き止める。

愛海 井戸くんでしょ、（あたし）愛海、愛海、
井戸 アミアミ…？
愛海 井戸くん、
井戸 愛海、

二人、見つめあったまま静止。

（なにか、恋に落ちるシーンにふさわしい大げさな歌）

井戸・愛海 あー！（絶叫）
愛海 保育園の赤ちゃん時代からずっと一緒だった、井戸くん。
井戸 保育園のお昼寝のとき、いつもオレの背中を蹴った、寝相の悪い愛海さん。
愛海 小学校もずっと同じクラスだった、井戸くん。
井戸 小学校の後ろの席から、いつもオレの椅子を蹴った、ガラの悪い愛海さん。
愛海 なんてだかわかんないけど、いつも席が私の前だった、井戸くん。
井戸 なんてかかっていうと、オレがイドで、愛海さんはウチカネザキだから、頭文字が、
「い」と「う」だから出席番号が前と後ろに決まってる、愛海さん。
愛海 …何でここにいるの、井戸くん、
井戸 愛海さんこそ、なんで？

二人、見つめあったまま静止。

（なにか、恋に落ちるシーンにふさわしい大げさな歌）

愛海 ストップ！（と曲を止める）
愛海 あたしは小学4年のとき転校して千葉に行って、それからまあいろいろあって盛岡に来て、で、一高に入学した。

井戸 オレは、釜石で、小学4年生、5年生、6年生も、中学ときて、で、高校で一高に入学した。

愛海 え、家は今も釜石？

井戸 そう。

愛海 下宿？

井戸 寮。じゃっ！

と、井戸、去ろうとする。

愛海 待て待て待て。

井戸 きゃあ（と、殴られるのを恐れて頭を守るポーズ）

愛海 殴らないでしょ。

井戸 殴らないけど…、蹴るでしょ。

愛海 小学校のときと一緒にしないで。

井戸 さっきも蹴ったし。

愛海 うそ！

井戸 ほら、さっきオレが（四つんばいになる）こーしてるとき、

二人、さっきの再現。

井戸が四つんばいになっているところに、愛海ひっかかって転ぶ？
まるで蹴りを入れているみたい。

井戸 ほらー

愛海 蹴ってないし。だいたい、井戸くん、今までどこに隠れていたの？

私たち高校2年だよ。今まで気がつかなかったわー。

井戸 オレは…あ！

井戸、メガネを見つけて、ぱっと拾い上げ、さっとかっこよくかける。

井戸 …私は空気と共に影に身を隠す、忍術を身につけたのだー！

（わっはっは…）

愛海 あー、やっぱり井戸くんだわ。なんかむかつく…

井戸 （女子っぽく）むかつかないで…

愛海 蹴りたいい…

井戸 きゃあ！

間

井戸 （調子を変えて）愛海さんだって、どこに隠れてた、ってぐらいの隠れっぶりです

けど？

愛海 まあ、いろいろあってね…

井戸 …ふうん（と去ろうとする）

愛海 待て待て待て。

井戸 （頭を守るポーズ）

愛海 聞くでしょ、ふつう聞くでしょ。

「突然転校してどこに行ったのー？」とか、

「いろいろ、ってどこらへん回ったのー」とか、

井戸 …聞かないよ。

愛海 え？

井戸 じゃあ愛海さんは聞いたりするの？

愛海 「あのときは誰が死んだの？」とか、

井戸 …

井戸 それに、今だって聞かないじゃない。

「震災の後、釜石はどうなってる？」とか…

第4場 愛海、待ち伏せる

チヒロとサユは、ベンチに座っている。
いつもの場所で。

チヒロ ハイシーオレンジ。

サユ 古いなー。きりり。

チヒロ あー、

サユ はちみつレモン。

チヒロ え？ないの？

サユ え、ある？

チヒロ んー、

サユ ミルクセーキ。

チヒロ あーあったねー

サユ ねるじえら。

チヒロ え？ それ消えた？

サユ 振るシリーズ、わりと消えてる。

チヒロ あー、

間

チヒロ あとなにあったつけ？
サユ もーいーよ。なんか、のど渴く。
チヒロ うん、渴くー。
サユ なんか買いに行く？
チヒロ うん、なんか買いに行く？
サユ うん、なに？
チヒロ ファンタゼリー。
サユ だからそれ、余計にのど渴くって。

間

チヒロ あ、見て。
サユ 愛海ちゃん。
チヒロ ……挙動不審。
サユ 誰か待ってる？ ……のかなあ？
チヒロ 井戸さん！
サユ いやいやいや、あれは大いなる勘違いだったでしょ。
チヒロ ううん、わかんないって。
二人、熱く語り合ってたじゃん。
サユ うーん、あれ、語り合ってたかなあ…？
チヒロ 愛海ちゃん、演劇部だけあって、熱いジェスチャー（？）でさあ、
サユ ジェスチャー、

チヒロとサユ、井戸たちの蹴り蹴られるシーンの再現

チヒロ ね？
サユ 愛海ちゃん、高校で、あんなにしゃべってるとこ、はじめて見たよ。
チヒロ それはー、演劇部も部員、愛海ちゃん一人だからね…
サユ 愛海ちゃん、小学校のときとぜんぜん違う…
チヒロ 違う…
サユ・チヒロ あ！ 井戸さんだ！

井戸がやってくる（体？）
愛海は隠れる（体？）
ただし、井戸と愛海の部分は実際に演じても演じなくてもよい。

チヒロ あ！
サユ 愛海、井戸さんの背後から忍び寄る…
チヒロ あ…
サユ そっとそっと忍び寄り、

チヒロ あ！
サユ 愛海、突然背中から蹴りを入れた！
チヒロ きゃあ！
サユ 井戸選手、倒れます！
チヒロ ああ！
サユ 愛海選手、井戸選手を押さえ込みます。危険です！ 危険行為です！
チヒロ そんな！
サユ 井戸選手、抵抗を試みますが、その手は宙を切るばかりです！
チヒロ まあ！
サユ 愛海選手、井戸選手をかつぎ上げます！ 軽々と持ち上げます！
チヒロ ええ！？
サユ あっという間に、愛海選手は井戸選手を誘拐、いや拉致です。拉致しました。
チヒロ あっという間の出来事でした！
サユ 愛海ちゃん…
チヒロ 愛海ちゃんたちはどこに消えた…？
チヒロ あっち…
サユ 演劇部の部室ね…。

第5場 井戸は芝居を演じる

演劇部部室。

井戸、役者として芝居の稽古中。演出は愛海。
どれも本来シリアスな芝居だが、井戸は棒読みだったり下手くそだったり、愛海はため息をつきまくる。

井戸 （矢野青史作『サテライト仮想劇―いつか、その日に』より）

「それが、僕たちの学校。福島県立相馬農業高校飯館校、サテライト。福島県で、名前に「サテライト」がつく高校は、東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故によって避難している高校だ。飯館校は、元は飯館村の深谷という所にあったけど、原発事故によって大量の放射性物質が降り、飯館村が全村避難。それに伴って飯館校も避難。1年目は福島県瀬上町にある福島県教育センターに避難。そして、2年目からはここ、村の校舎から35キロ離れた福島市永井川にある、福島明成高校の敷地に避難。…」

井戸 （畑澤聖悟作『もしイタ〜もしも高校野球のマネージャーが青森県の「イタコ」を呼んだら』より）

「学校早く終わって、すぐ帰ったんだよ。あの日。新しいグローブ買いに、隣の町まで行こうって思ってた。」

…「じゃあ、また明日」って、みんなと別れて。いったん家に帰ってカバン置いて、「行ってきます」っておかあさんに言って。それっきりだよ。
みんな流された。家も、花壇も、ポストも、電柱も、バス停も、コンビニも、学校も、グラウンドも、バックネットも、ベンチも、部室も、部室も、部室も、部室も…」

井戸 待て待て待て。

愛海 待てはこっちだ。ねえ井戸くんさー。

井戸 いやいや愛海さん、おかしいでしょ、なんでオレがこんなことやらなきゃなんないわけ？

愛海 あー？

演劇部員だったら、演劇するのは当たり前でしょ。

井戸 だからそれがおかしいんだって。

愛海 なんでオレが演劇部員？

井戸 ー、まー、

いや演劇部ひとりで大変なのはわかるよ、

でも、なんでオレ？

愛海 そこは…よしみで。

井戸 だれ、よしみって？

愛海 は？

井戸 え？

幼なじみのよしみでー

愛海 だからだれ。

井戸 あー、井戸君と話しているとワケわかんなくなるー

愛海 井戸 ワケわかんないのはこっち。

愛海 いいから！ 蹴るよ？

井戸 （から元気で）オレだって、いいかげんそんなおどし…

愛海 （蹴り入れるふり）

井戸 きゃあ！（としゃがむ）

井戸、しゃがんだついでに逃げようとする。（たとえば匍匐前進とかで）

愛海、井戸をつかまえ、引き戻す。

井戸 （悲鳴）ねえ、なんで震災の芝居？
え？

井戸 なんでやりたいの、こんな…

愛海 （ドスキかせて）こんなー？

井戸 （開き直る）こんな！

二人、にらみあう。

井戸 だいたい、愛海さん、震災の後すぐ転校してた組じゃん。
愛海 あー！ それ言う！
井戸 なに。
愛海 いたらエライわけ。釜石にずっといたらエライわけ。
井戸 なにそれ。
愛海 だいたい井戸くんだって、高校はここじゃん、盛岡じゃん。
井戸 それは、フツの進学でしょ。
愛海 だったらあたしも、フツの、転校と進学でしょ。
井戸 だったらなんで、こんな芝居をオレやらされてるの？
愛海 やらされるー？
井戸 なんか震災っていうと、すぐマジメな感じになっちゃってさー、
愛海 はあ？
井戸 (勇気を奮って) マジメか！ 愛海さん、マジメか！
愛海 だって…わかんないよ。
なんか、思い出さなきゃダメなような気も、忘れていいような気もして、時々、なんか、こう…

間

井戸 (『もしイタ』より)
「ごめん。」
愛海 えっ？
井戸 「…おれさ、…おれ、…みんなのこと、絶対忘れないって約束したのに、俺また野球やって、楽しくて、いろんなこと忘れてた。ごめん…俺、最低だよ。…ごめん。」

(女声で) 「まー、この子ったら」
「男の子が人前で泣くんじゃないの。」
愛海 だからー(蹴りを入れる)。
井戸 ギャアー！

暗転

第6場 井戸は呪文を思い出す…か？

すぐ照明つく。
井戸のみ。制服の上になんか中二っぽい魔術師っぽいものをかぶる。
(ガウンとか)

演劇部部室。

井戸 (呪文)：(なんか中二っぽいやつを。

井戸 所々に「愛海蹴られるべし」とか「愛海下痢すべし」とかのフレーズを入れること)
ダアーッ!! (とポーズ)

間

井戸、満足げに額の汗をぬぐう。

愛海、普通に登場するも、井戸はそれに気づかない。

愛海 ねえ、

井戸 (びっくりして) ダアッ?

愛海 (こっちもびっくりして) な、なに?

井戸 …効かない…やっぱり…

愛海 ねえ、来月の発表会なんだけど、

井戸 ああ…(上の空で) ブツブツ…あれをこうして…

愛海 やっぱ「もしイタ」だめかな?

演劇部員あと十五人くらい足りないけど、そこは気力で、

(何か思い出して) ああっ!!

井戸 な、なに?

愛海 思い出した、思い出したよ。

井戸 あの呪文だよ!

愛海 呪文?

井戸 愛海さん、あのころ一分おきにはオレのこと蹴ってたじゃん、だからあの時…

愛海 はあ? 一分おき?

井戸 そう、たとえば給食のとき…

井戸の回想

サユとチヒロ登場。サス。

二人は、イドとアミを演じる。

それぞれ胸に「いど」と「あみ」の大きな名札。

「イド」役は大きなメガネをつけ、

「アミ」役はでかい靴をはく。

イド アミさん、やめてください…

アミ 4年生にもなって、ニンジン食べられないの、はずかしい…

イドが前を振り返った瞬間、アミ蹴りを入れる。

イド
アミさんゝ

アミ
4年生にもなって、チーズ食べられないの、はずかしいゝ

イドが前を振り返った瞬間、アミ蹴りを入れる。

イド
アミさん、3回目ゝ

アミ
4年生にもなってゝ

イド、前に出る。

イド
くっそー、オレはこのプリンに誓う！

あの、悪の帝王を倒してやるー！

アミ、イドを蹴倒しプリンを奪う。

アミ
（笑う）ほーっほっほっ…

イド
くっそー！ 悪の帝王め…

アミ
あー、おいしー。

イド
（呪文：「プリン」とか「牛乳」とか食べ物の名前を入れた呪文で）

アミ、牛乳やらプリンやらをいっぱい頬張っていたが、突然お腹を押さえる。

アミ
うっ！

イド
えっ？

アミ
お腹が…ちよっ、ちよっ、

アミ、転がり出てゆく。

イド
効いた…、

（大声）えー！？ 効いたー？

イド
（呪文の復唱…早口で）

忘れるな、イド、忘れるな、オレ、忘れるな…いや絶対これ忘れる…

あっ、そうだ！

イド、カッターをとりだし、机を引っ張り出す。

イド、机に呪文を彫りながら呪文を唱える。

イド
（呪文）

アミ、袖中から大声。

アミ あゝー！！

イド、アミのいる方向を見てニヤリとする。

回想終わり。

照明もとに戻る。
元の井戸と愛海。

井戸 あー：

愛海 だから、『もしイタ』と『サテライト仮想劇』をまぜたオリジナルでもいいと思うんだ、あと二十人くらい足りないけど、あの呪文だ。

井戸 井戸、ブツブツ思い出そうとするが、思い出せない。

愛海 え？ なに？

井戸 あー！ 思い出せない。

愛海 え？

井戸 でも机に彫ったんだ、呪文を彫ったんだよ、愛海さん。

井戸、つい愛海に駆け寄る。

愛海 もつい（ワケはわからず）喜ぶ感じになる。

愛海 で？

井戸 オレは戻らなきゃいけない、あの小学校へ。

愛海 小学校？ あたしたちの？ 釜石の？

井戸 そう！

照明サス。

さっきのイド役とアミ役。

アミ

あー、イドくん、机に傷つけてるー、

（歌う） いーけないんだーいけないんだー、

イド、机を隠しながら、

イド オ、オレの机じゃん。な、なにしたって、
アミ イドくんの机じゃありませんー、学校の机ですー、
イド あ、アミさんだって、何か彫ってるー

アミ、ふと気づいてあわてて自分の机も隠す。
イド、読もうとする。

イド なに？ い、い、い、いど？
アミ やめてよー！

イドとアミ、もみ合う。

イド （読みながら） いどー？
アミ やめてー！

照明もとに戻る。
元の井戸と愛海。

愛海 （独り言） あれは、あれは…あたしは何を彫ってたんだろう？ 思い出せない…
井戸 （独り言） 小学校に絶対残ってる。

愛海 絶対残ってる。

井戸 小学校は、震災のあとあのままだから、

愛海 （重ねて） 小学校は、あのまま残ってるっていうから、

井戸 愛海さんを倒す呪文が机に。

愛海 「いど」「いど」…なんであたし「いど」とか彫ってるの？
もしや…「いどくん、ハート」とかだったら…えー！！！！

間

井戸 愛海さん！

愛海 オレ、行って来る！ 釜石に！

井戸 え？

愛海 小学校に。オレたちのいた小学校に。

井戸 だめー！！

愛海 え？

井戸 …だめ、見せない、てゆうか、行かせない…

愛海 …え？

井戸、愛海の殺気を感じて後ずさり。

愛海、攻撃のポーズ。

暗転。

真っ暗な中、響き渡る井戸の叫び声。

井戸　ぎゃあ〜！

第7場　二人は釜石の町を歩く

釜石の町。

井戸と愛海。

愛海　井戸くん、井戸くん！

井戸　うん？

愛海　（息を吞んで）イオンだ：

井戸　：別に珍しくないでしょ。

愛海　だって！　釜石に！　イオンだよ！

ありえない：あ、でも、お客がいなくてガラガラとか：

（のぞき見して）意外と入ってる：

井戸　うん、

愛海　なんか：こんなの：釜石じゃない！

井戸　釜石だから。

はい、こっち。（と先をうながす。）

愛海　（歩きながら数え上げる）

「アンジェリーク」こんなとこに引越してきてたんだ、

あ、「ホテル・サニール」、

あ、この先に本屋あったよね、（走る）

あ、空き地になってるか：

井戸くん、井戸くん！

井戸　うん、

愛海　信じらんない。セブンイレブン。あれ（向こうを指して）！

セブンができてる！

セブンだよね、セブン。

井戸　うん、

愛海　あ、ねえ、こっち海だよね、

うみ—————！

愛海、走り去る。

井戸、追いかけてかかって、立ち止まる。

井戸 「パニック」「パン工房」「桑島書店」「太田文房堂」「やかた」「ゴン太」：

（なくなってしまった店やものをひとつひとつ呼びながら数え上げる）
袖中から愛海、大声で。

愛海 井戸くーん！ あっちー！ 大観音ー！
井戸 えー：

井戸、ゆっくりと歩き去る。

第8場 二人は小学校に戻る

風の音。

照明がつく。

井戸と愛海は、かつての小学校に来了。
小学校は震災の後廃校になっている。
全体的に少し薄暗く、二人の足元を風が吹き抜ける。

愛海 （こわごと）えー、ここだっけー？
井戸 2階なんだから、ここでしょ。
愛海 よく覚えてないわー、
井戸 窓の風景がぜんぜん違うからなー。

井戸が窓の方に行って、愛海の元から離れる。

愛海 井戸くん、井戸くん、どこ？
井戸 ：
愛海 井戸くん！ 行っちゃったら蹴り入れるよ、井戸くーん：
井戸 ：
愛海 （女子っぽく）井戸くーん、
井戸 （戻ってきて）どしたの？
愛海 （突然ガラ悪く）井戸お！
井戸 はー？（と再び離れると）
愛海 （再び女子っぽく）井戸くーん。

井戸、ため息をつきつつ戻ってくる。

井戸 だからなんなの。

さっきまであんなに元気だったのに。

愛海 いやー、大観音まで歩くのは、無理があった。

井戸 そもそも目的はここなんだから。

愛海 そもそも…（ハッ）私はなんでここに？

井戸 愛海さんが勝手についてきたんだよ？

愛海、井戸の話は聞かず、別のほうへ。

井戸 聞いてないし！

間

愛海 （窓のほうを見て）なんか風景がちがう…

井戸 だからそれ、オレが言ったし。

愛海 海なのに、すぐ海なのに、

井戸 いろいろな工事やってるから、

愛海 …ここに来る途中も…変わりすぎだよ…

小学校もこんな廃墟みたいだし、なんか、すごいへんな感じ…、

愛海、しゃがみこむ。

井戸 ええっ？ 呪文を見つける前から？

愛海 え？ なに？

井戸 いやいやいや…

愛海と井戸、背を向け合う。

愛海 （独り言）

思い出す。やっぱり思い出す。

井戸くんの背中を見ていると思ひ出す。

小学校のときの、あの感じ。

毎日がときめいていて、なにかを失くすことなんて、思いもよらなくて…

ときめく…？ あたしはあのころ井戸くんにときめいていた？

好きな子をはじめみたいのに、井戸くんに蹴り入れてた…？

机に刻んだ、い・ど…！ ああ、「い・ど」以外が思い出せない。

でも何であれ、井戸くんにそれを見つけれたら困る。きっと困る！

井戸くんが見つける前に見つけないと。

井戸 （独り言）

思い出す。やっぱり思い出す。

愛海さんを見ていると思ひ出す。小学校のときの、あの感じ。
あの、すべてが憎らしくてたまらなかったあの気持ち。
その気持ちを呪文にぶつけて、机に刻んだ、あの呪文。
ああ、呪文を思い出せないー！
でも何であれ、愛海さんにそれを見つけれたら困る。きっと困る！
愛海さんが見つける前につけないと。

二人、ふとお互いを見る。

井戸・愛海　へへへへー（とごまかし笑い）

井戸　（ふと下を見て）あ、この渡り廊下。

愛海　渡り廊下？

井戸　うん。

愛海　何もないし。

井戸　でも、その下、ほら、休み時間とか遊んだよね。

グリコとか、女子はゴム跳びとか、あ、缶蹴りとか。

愛海　かんけり？

井戸　先生には校庭で遊べって言われたけど

そこ、ゴムの床がいい感じでさ、

愛海　缶けり…

井戸　もう、ゴムの床かどうかもうよくわかんないね…

愛海　缶けり…

第9場　チヒロとサユは缶けりをする

空き缶が跳ぶ音。カーン。

同時に照明が変わる。ホリは青空。

小学校の渡り廊下。

小学生のチヒロがいる。

缶けり遊びの最中である。（缶はなしで、ある体で）

チヒロが蹴りだした缶を、サユが探しに行ったらしい。

サユ、舞台に現れる。

サユ　またどっか消えたー

チヒロ　サユの探し方が悪い。

サユ　えー？

チヒロ、缶けりってどうゆう遊びか知ってる？

缶を探す遊びじゃないんだよ。
かくれんぼか、缶のかくれんぼか。

チヒロ 空き缶が「まーただだよ」「もーいーよ」とか言うのか。
場所が悪い。こっちの先、すぐ海なんかもん。

サユ 海ってゆうか、ガケだから。フェンスの向こう、ガケだから。
缶がすぐ海に跳びこむ…

サユ 空き缶の身投げだ。

チヒロ まー、しょうがないな！、

サユ （期待して）お？

チヒロ これの出番ですか？

サユ おお？

チヒロ じゃじゃじゃーん（ドラえもん風に）

特製、缶けり用の空き缶ー！

サユ （ぱちぱちぱち）

チヒロ 二十一世紀の缶けり兵器。

未来型缶けり対応空き缶ー！

サユ ま、重しを中に入れただけなんだけどね。

チヒロ でもやっぱり特別だって。

他の缶は、どう気をつけてもすぐ海ポチャだけど、

サユ または、全然跳ばなかったりね、

チヒロ （うなずいて）この缶だけは、奇跡的に生き残ってるよねー、

サユ ファンタ最強。

チヒロ やっぱファンタゼリー最強。

サユ だからフルフルシェイカー。

チヒロ 最強。

小学生の愛海登場。

愛海 まーぜーてー

サユ 愛海ちゃん、

チヒロ 愛海ー、

サユ チヒロ、呼び捨てか、年上なのに。

チヒロ 愛海さーん、

愛海 愛海ちゃんでいいよ。

チヒロ・サユ 愛海ちゃん！

愛海 はーい。

サユ あ、愛海ちゃん、もう高学年だし、缶蹴りなんかしないって言ってた。

チヒロ 言ってたー、

愛海 だってまだ三月じゃん。

あたしまだ4年生だし。

チヒロ そっかー。

チヒロ、缶を置く場所を変えながら、大事そうに地面に置く。

サユ 愛海ちゃん、春休み、どっか行くのー？

愛海 ふふふー

チヒロ あたし知ってるー、家族で北海道。

サユ いーなー

愛海 いーでしょー。

じゃあ、

三人ジャンケンで鬼を決める。

愛海 じゃあ、あたし鬼ー。

サユ あたしけりまーす。

サユ はい、ケッター！

サユが缶を強く蹴る。

音がする。「カーン」

愛海は缶を追い、チヒロとサユは反対側に走り去る。

第10場 愛海は思い出す

照明、薄暗く変わる。

愛海、廃校の隅でたたずむ。

愛海、地面の何かに気づいて土を掘る。

空き缶だ。手にとってみると、思っていたより少し重い。

愛海 ファンタフルフルシェイカー…

愛海、空き缶を片手に、去る。

第11場 井戸は思い出す

井戸、愛海を探しながら登場。

井戸 愛海さーん、どこー？ 愛海さーん、

間

井戸 なんだよ、あんなにこわがってたのに、今度は置いてきぼりかよ。
や、オレだって、ひとりの方がいいって思ってたよな…
けどなんか、いざそうなる…（ぶるっ）
愛海さーん、

間

井戸 ん？ もしかして愛海さん、警察に補導されたとか？
立ち入り禁止（ここ）に忍び込んだとか、通報された…？

間

井戸 いやいやいや（首を振る）、
おーい、愛海さーん、どこだー、

井戸はある教室に入る。

井戸 あれ？ ここ…

間

井戸 やっぱりそうだ、4年生の教室だ…

井戸、自分の机を探す。
床には何かが（ないけど、ある体で）いろいろ散乱していて、時々足を取られる。
そこに愛海登場。

井戸 あ、愛海さん。

愛海 井戸くん…

井戸 うーん、これは難しい。

愛海 こうなると、愛海さんに会ってうれしいような、うれしくないような…
井戸 井戸くん、
井戸 はい？
愛海 井戸くん、あの日のこと、覚えてる？
井戸 あの日？
愛海 うん、あの日…

間

井戸 愛海さん、それ何？

愛海 愛海が手を見る。
そこにはファンタフルフルシェイカーの缶。

愛海 あっ（と隠す）
井戸 缶ジュース？

愛海 （しらばっくれて）あー空き缶…そこでちょっと拾ってさー、ほら一日一善？
井戸 こんなにモノが散乱してるのにな？

愛海 ううん、ゴミってゆうか、ちょっと拾いたくなっただってゆうか、

やだ井戸くん、なんでもいいじゃんー（と井戸を軽くたたく）

持って帰るの？

井戸 え？

持って帰るつもりなの？

愛海 あー、そうね、なんか、ここにきた記念？ 記念に？

井戸 記念。

愛海 そうそう、

間

愛海 井戸くん？

井戸 なんだよ、それ。

愛海 え？

井戸 何だよ、記念品とか。愛海さん観光客かよ、

震災見学ツアーかよ！

愛海 え…しんさい…？

間

井戸 愛海さんはさー、

震災の後、すぐいなくなったから、わかんないんだよね、いろんなことが。

愛海　ちょっと井戸くん、なに突然キレてんの。
井戸　オレ、避難所には行かなかったけど、ずっと家にいて、

ゲームの電源は落ちるし、「ハンター×ハンター」は見れないし、
代わりにその港の様子ばかり全国ネットでやってて、
なんかインタビューで友達がテレビに出ててさ、
で、学校始まったらその友達はどうもないし…そいっただけじゃなくて、
あれ？誰々がいないな、って思ったらもう転校していて、
お別れのあいさつとか全然なくて。

でも聞いちゃいけないような気がして聞けなくて。

愛海　井戸くん、
井戸　そんなの持って帰るなよ！

井戸、愛海の缶を奪う。

愛海　やめてよ！
井戸　なんだよ、こんなもん！

二人少しもみあった後、
井戸は缶を窓から放り投げる。

愛海　（ハアハア）なんだよ、井戸くん、ひどいよ。

井戸くんこそ悲劇のヒロインか。

なんだよ、井戸くんとこんなか、家も高台で家族もみんな無事で、
なにがアニメだよ！ゲームだよ！

あたしなんか釜石から出てって、出るつもりなんかなかったのに出てって、
へーあたし全然平気だったんですか、あーそうですか！

：

井戸　井戸くん、昔からそうだよね。
愛海　何かあるとそれをいつまでもいつまでも…。

あたしがちょっとちょっかい出すと、
「世界シネ」とか「滅びろ」とか言ってるさ、

ツナミ…
あ？

あ？

オレ、「ツナミ来い」って思ってた…
え？

愛海　井戸　「世界滅びろ、ツナミ来い」って呪文を作った…

愛海　井戸　井戸くん…？

愛海　井戸　愛海さんじゃない、愛海さんじゃなかったんだ。

愛海さんに呪文をかけたんじゃないかって！

愛海　呪文？

井戸 「ツナミ来い」って呪文を、机に彫ったんだ…

愛海 え…？

井戸 その呪文が効いて、あの日、本当にツナミがやってきたんだ…。

第12場 井戸と愛海のどっちかが、海に落ちる

はげしい波の音。

井戸、叫びながら舞台を走り抜ける。

愛海、後を追う。

愛海 井戸くん、井戸くん、どこに行ったの、井戸くん、

愛海、井戸を探しながら走り抜ける。

井戸、別の方向から登場するが、なぜか机の下に隠れつつ登場。

井戸 あーもう、オレ、このままずっとこーしてたい。

だって、オレのせいじゃね？

全部オレのせいだったんじゃない？

チヒロとサユ登場。

井戸の机のところへ駆け寄る。

チヒロ 井戸さん、それ、どーゆーこと？

サユ なにが井戸さんのせいなの？

井戸は、チヒロとサユの声が聞こえているのかいないのか？
はっきりしないまま舞台は進む。

井戸 オレは発見した。発見してしまったんだ。呪いの呪文を。

それは世界を滅ぼす呪文だったんだ。

愛海さんをやつつけるつもりが、あの日オレは世界を滅ぼしてしまったんだ。
だからオレのせい…オレのせいでこんなー、

前のほうで、愛海は缶を再び見つける。

チヒロ 井戸さん、出てきて。

サユ 井戸さん、バッカじゃないの？ そんなこと思ってたの？

チヒロ サユー。

サユ だってそうじゃん。

井戸さんに、世界を滅ぼす魔法の力なんてあるわけある？

カーッ、アニメのみすぎだっつーの。

チヒロ まーまー。

井戸 ……このままここで、残りの人生を過ごしたい…

サユ 井戸、出て来い、こらあ！

チヒロ サユ、呼び捨て…

愛海、前に行きかける。

チヒロ あ、愛海ちゃん！

サユ 危ない！

チヒロ そこ、海に落ちる！

愛海 井戸くん、井戸くん、どこに行ったの、井戸くん。

だからイヤだった、ここに来るのイヤだった。

ねえ、井戸くん、チヒロちゃんとサユちゃんはどなったの？

缶は見つかっただけど、チヒロとサユは見つからない。

二人は帰ったの？ それともここに残ったの？

チヒロ 愛海ちゃんー

愛海 チヒロちゃん？

サユ 愛海ちゃんー

愛海 サユちゃん？

声は届くが、愛海に二人の姿は見えない。

サユ グラァ、井戸！ お前がどうにかしろい！

井戸、愛海に気付く。

井戸 ……愛海さん？ 愛海さん、そこ、落ちる！危ない！

チヒロ そうそう！

サユ よし、井戸お、行け！

チヒロとサユ、口々に井戸をあおる。

井戸 え、え、（どうしよう）

…よし、こんなときは…呪文だ！

チヒロ・サユ はあー？

井戸 新たな呪文で勝負だ。

今度は滅びの呪文じゃなくて、愛海さんを助ける呪文だ！
えーと…

（考えながら、つい机を見て、その呪文を読んでしまう。）

……（滅びの呪文を唱える）

井戸 あ、しまったー、これ、滅ぼす方の呪文だったー！

愛海 うっ、なに？ 急にお腹が…

チヒロ・サユの二人、顔を見合わせる。

井戸 よし！

何か知らんけど、よし！

チヒロ・サユ （口々に）行け、井戸（さん）、行け。

井戸、走り出すが

愛海も逆方向に走り出し、

井戸が到着すると、愛海はもういなくなっている。

井戸がきょろきょろしていると、愛海は奥の真ん中にいる。

井戸はもう一度走り出す。

井戸 愛海さーん、

愛海 チヒロー、サユー！

二人、また走り出し、また行き違いに。

井戸と愛海はいつまでたっても会えない。

チヒロとサユはどうしただろうか？

チヒロは愛海に、サユは井戸のすぐ後をついて走る。

走って走って…わけわかんなくなる。

チヒロ 愛海ちゃん、

サユ 井戸さーん、

愛海 チヒロー！ サユー！

井戸 チヒロー！ サユー！

四人はぐるぐる回りながら、少しずつ台詞が変わる。

チヒロ きゃー

サユ おかあさーん、

井戸 逃げろ、みんな、逃げろー

愛海 チヒロー、サユー、逃げてー

井戸と愛海がとうとう出会う。

愛海 井戸くん、チヒロちゃんとサユちゃんは？

井戸 あの二人は…

愛海 二人はどこに行った？

井戸 あの二人は…

愛海 いるよね？ いたよね？

井戸 あの二人は…

愛海 この缶で、ファンタゼリーの缶で、いっしょに…あ、なに？

井戸 缶が…ない。

チヒロは、手に持っていた缶を前に投げる。

井戸 缶なら…（海を指差し）あそこだ！

オレが取りに行く！

愛海 行く、って、井戸くん、海…

井戸、叫びながら海に飛び込んでいく。

愛海 井戸くん！

海に飛び込む井戸。

その井戸を、チヒロとサユは助けるのだ。

愛海 チヒロちゃん…、サユちゃん…

大きな波の音。

照明変わる。

第13場 伏線がやや回収される

静かな海の音。

井戸と愛海。

愛海　で、どうなの？

井戸　いやー、

愛海　もう乾いたの？

井戸　なんか塩が残ってベトベトしてさ、

愛海　だいたい、間抜けすぎ。

井戸くん、海に落ちるなんて。

井戸　いやあ、

愛海　ほんとに海育ちか。

井戸　海、って、その海？オレ海の中で育ったわけじゃありません。

愛海　かー、井戸くん、ほんとイライラする。

愛海、井戸を蹴るふり。

井戸、軽く逃げるふり。

井戸　それ、出せばいいのに。

愛海　え？

井戸　愛海さん、高校で猫かぶってるでしょ。

愛海　ネコ？

井戸　地、出せばいいのに。こんなふうに。

愛海　…井戸くんだって。

井戸　オレは、ほら、闇に生きる忍びの者だから。

愛海　やっぱなんかいらつく。

井戸　…愛海さんさ、

愛海　は？

間

井戸　…テコンドーとかはじめたら？

愛海　は？　なに？

井戸　足で蹴るやつ。あ、キックボクシングとか。

愛海　なんじゃそれ。

井戸　得意じゃん。

愛海　あたしほんとに体弱いから。

井戸　えー？

愛海　お腹すぐこわすし。

井戸　あー！

愛海　なに。

井戸　あの呪文、やっぱり、お腹を、お腹だけを…

愛海　なによー？

井戸　あれ？　オレの机、どこに行った？

井戸、ふたたび机をさがして、

井戸 あれ？ これ愛海さんの机？

愛海 あ！ それ！

机の傷をなんとか隠そうとする愛海。
けげんな井戸。

井戸 愛海さんも机にいっぱい傷つけてるよね。

愛海 …見たの？

井戸 ー、「でっかいどう、ほっかいどう」？

愛海 え？ 北海道？

井戸 愛海さん、すげーうるさかったもんね、

春休み家族で北海道に行くって大騒ぎして。

愛海 北海道？

うん、おぼえてない？

井戸 …ほっかいどう、ほっかいどう、ほっかいどう「いど」う

…あー！（大声）

なに突然。

愛海 （喜んで）でっかいどう、ほっかいどう！

井戸 ？

（ほっと安心）そーだって、そんなわけないから。

井戸 ？

愛海 ね、「いど」って、

「でっかいどう」の中にも、「ほっかいどう」の中にもあるのね。

井戸 なにがなんだか。

愛海 …帰ろうか。

井戸 うん。

二人、去る。

第14場 チヒロとサユは海を見る

静かな海の音。

明るい色のホリ。

海を見ているチヒロとサユ。

サユ やっぱり、フルフルシェイカーの缶は最強だったね。

チヒロ

：

サユ チヒロ、

チヒロ

：

サユ チヒロ、泣くな。

チヒロ

：

サユ 泣くと水分取られるよ。

チヒロ

うん、

サユ 余計のど渴くから。

チヒロ

うん。

間

チヒロ ファンタゼリーってもう売ってないね。

サユ フルフルシェイカーだから。

チヒロ 売ってないね、もう。

間

サユ 団長さんでも見に行く？

チヒロ うーん…飽きた。

サユ えー何人目。

チヒロ いーじゃん、見てるだけなんだから。

サユ えーと（と指を追って数える）

チヒロ 見てるだけだよ、あたしたち。

サユ 見てるだけでいいよ。

チヒロ 見てるだけ…

間

チヒロ ねえ、サユ。

サユ なあに、チヒロ。

チヒロ あたしたち、年、いくつかなあ。

サユ うーん、

チヒロ ねえ、

サユ いくつかなー…

徐々に暗転。

海の音。

幕

※引用（2018年の執筆時、作者に引用許可取得済み）

- 1 矢野青史作『サテライト仮想劇―いつか、その日に』
- 2 畑澤聖悟作『もしイタゝもしも高校野球のマネージャーが青森県の「イタコ」を呼んだら』

（『脚本集3・11』日本演劇教育連盟編 2014年 晩成書房刊）

〈おねがい〉

この戯曲は、「佐藤かつら戯曲館」への掲載にあたり記号の表記などを一部改めて打ち直し、体裁を整えたものです。ダウンロードして練習脚本などとしてお使いいただくことができます。実際に上演される際は「佐藤かつら戯曲館」ホームページにあります「上演を検討される方へ」をお読みの上、ご連絡ください。

36

〈参考〉

2018年上演時の使用楽曲

- ・Ingrid Michaelson 『Far Away』
- ・Whitney Houston 『I Will Always Love You』
- ・Curly Giraffe 『My Dear Friend』